

鹿児島市立宮小学校 令和5年度 1学期学校自己評価（職員） ※ 4月当初の子供との比較

《評価の尺度》そう思う→4, どちらかというと思う→3, どちらかというと思わない→2, そう思わない→1

分類	No.	評価項目・観点 ※ 太字の項目は、平均3.0未満の項目	1学期平均
めざす子ども像	1	<b>&lt;考える&gt;</b> 「子供を主語にした指導法改善」により、基礎的・基本的な知識・技能と思考力、判断力、表現力等が子供に身に付いたか。	3.0
	2	<b>&lt;強い&gt;</b> 「運動と保健・安全領域とを関連付けた指導」により、自ら体力づくりに向かう子供の意欲が高まったか。	3.0
	3	<b>&lt;明るい&gt;</b> 「生徒指導の充実と生活環境の整備」により、元気のよいあいさつが飛び交い、明るい笑顔があふれる宮小学校になっているか。	2.9
	4	<b>&lt;思いやり&gt;</b> 「人権尊重の精神を育てる学校の教育活動全体を通した取組」により、相手の立場になって考えた行動ができる子供が育っているか。	2.9
I 考える	1	<b>学習規律指導の徹底による学習基盤力の育成</b> 姿勢、態度、用具の準備と置き方、時間等の学習規律指導や、辞書引き、暗唱等に取り組む場を位置付けることにより、子供の学習基盤力が向上したか。	3.2
	2	<b>めあて、見通し、まとめ・振り返りによる問題発見・問題解決能力の育成</b> めあての設定(低学年は先生、中学年は子供と先生、高学年は子供)、見通し、まとめ・振り返りの場を確実に位置付けた授業により、子供の問題発見・問題解決能力が向上したか。	3.1
	3	<b>三角ロジックによる思考力、判断力、表現力等の育成</b> 三角ロジックを活用する対話活動の場を授業に位置付けることにより、子供の思考力、判断力、表現力等が向上したか。	2.9
	4	<b>個別最適な学びの実践による、学びに向かう力の育成</b> 授業におけるタブレットPC活用の工夫や、中学年以上における習熟度別学習、単元導入時におけるオリエンテーションの取組により、子供の学びに向かう力が向上したか。	3.1
	5	<b>補充的・発展的な定着指導の充実による知識・技能の育成</b> デジタルドリルを活用した「チャレンジタイム」や個別の補充・発展学習により、基礎的・基本的な知識・技能が高まったか。	2.9
	6	<b>自ら学ぶ家庭学習の習慣化</b> 月曜日・水曜日のタブレットPCの持ち帰り、「チャレンジウィーク」の取組、予習学習機会の位置付け(高学年)は、子供の自ら学ぶ家庭学習の習慣化につながったか。	2.9
	7	<b>各教科等の学びを活用しようとする態度の育成</b> 主体的な学びを支える「学習コーナー」の設営や、各教科等での学びを活用する総合的な学習の時間の探究活動の工夫により、各教科の学びを日常生活に活用しようとする態度が育成されたか。	2.9
II 強い	1	<b>運動の質と量の確保に向けた取組の工夫による、体力づくりに励む意欲の向上</b> 体力テスト等の結果に基づいた運動の重点化と、一校一運動(サーキット・トレーニング等)による継続した取組、「目標提示」「課題解決の活動」「振り返り」の場を設定した教科体育の工夫により、自ら体力づくりに向かおうとする子供の意欲を高めることができたか。	2.8
	2	<b>計画的な安全指導による、安全への意識高揚</b> 計画的な各種避難訓練やKYT指導、学校内外の安全管理の徹底により、子供の安全意識を高めることができたか。	3.0
	3	<b>保健指導や給食指導の充実による、心身の健康に対する意識の高揚</b> 日々の保健指導や給食指導、健康ノートを活用した健康教育の推進により、心身の健康に気を付けながら生活しようとする子供の意識を高めることができたか。	3.2
III 明るい	1	<b>あいさつ運動の取組</b> 先手あいさつ、語先後礼等の指導や取組により、あいさつが飛び交う明るい宮小学校になっているか。	2.6
	2	<b>自己指導能力の育成</b> 教育活動全体を通した自己決定の場の位置付けや傾聴と対話を指導基本とした生徒指導の実践が、子供の自己指導能力の育成につながっているか。	2.8
	3	<b>学級活動の充実による人間関係形成・社会参画・自己実現の資質・能力育成</b> 教科指導と連動した話し合い活動や実践、朝の会や帰りの会を通した学級(学校)の問題発見(振り返り)の場の設定により、子供の人間関係形成力や社会参画力、自己実現力が向上したか。	3.0
	4	<b>学校生活環境づくりによる、一人一人のよさを大切にできる態度の育成</b> 話し合い活動を通した学級目標や学級ルールづくりや活動計画等の立案、「学校楽しい」と等を通したいじめ把握と全職員による事後対応の協議、「みんなで遊ぶ日」や互いの良さに気付かせる場の設定等の取組が、子供の、一人一人のよさを大切にしようとする態度につながったか。	3.3
	5	<b>家庭・地域と連携・協働した取組による、心の整った子供の育成</b> 「言葉」「環境」「学力」を整えるための家庭・地域と連携・協働した取組によって、心の整った子供を育成することができたか。	2.9
IV 思いやり	1	<b>読書指導の充実による思いやりの心の涵養</b> 様々な本に親しむことができる取組や、読書を通したインプットからアウトプットによる思い等を伝える活動の設定、家庭や地域と連携した読み聞かせ等の充実により、子供の思いやりの心を涵養することができたか。	3.0
	2	<b>特別活動や道徳教育、人権教育の充実による、自他を尊重する心、自ら考え判断し行動できる力等の育成</b> 特別活動や道徳教育、人権教育の充実により、自他を尊重する心や自ら考え判断し行動できる力、認め合い、助け合い、励まし合う心を育成することができたか。	3.0
	3	<b>「汗の教育」の推進による、役割と責任の理解</b> 係や委員会活動、清掃活動を通して、役割と責任に対する子供の意識を高めることができたか。	2.8
	4	<b>「汗の教育」の推進による、生命及び自然科学探究への意欲の向上</b> 緑化・栽培活動を通して、生命や自然科学探究への意欲を向上させることができたか。	2.7
	5	<b>特別支援教育の充実による、社会性の育成</b> 一人一人の教育的ニーズを明確にし、交流学級と特別支援学級間の効果的な連携・協働体制による支援や指導を充実させることにより、子供の社会性を育成することができたか。	3.2
V 教育課		<b>時数確保と内容の充実</b> 指導計画部会を生かし、工夫や改善を加えながら計画的にバランスよく実施できたか。	3.4
VI (3 研修 3 運営)	1	<b>自己研鑽</b> 研究等に意欲的に取り組み、子供の指導に生かしたか。	3.0
	2	<b>コミュニケーション</b> 人権を大切に、同僚間のコミュニケーションを大切に、澁刺と仕事をしたか。	3.4
	3	<b>細やかな連絡・調整</b> 些細と思われれることも、職員間で連絡や調整を細めに行なったか。(「報・連・相」の徹底)	3.4
(VII 連携)	1	<b>保護者との連携</b> 「つながり」を合い言葉として、細やかに連絡を取り合い、指導に生かすことができたか。	3.5
	2	<b>地域との連携</b> 「地域に開かれ、地域とともにある学校」づくりに向け、学校運営協議会を充実させるとともに、会の意義や経過等の周知・啓発を行い、家庭や地域が学校運営に参画できる雰囲気づくりに努めることができたか。	3.4
VIII (3 管理 3 事務)	1	<b>教育環境づくり</b> 安全かつ機能的な教育環境を工夫してつくることができたか。	3.5
	2	<b>適正な会計・事務処理、表簿作成</b> 計画的に遂行し、正確かつ丁寧・迅速に処理できたか。	3.5
	3	<b>業務の簡素化</b> 事務処理等を組織で対応したり、校務データを共有化するなどして、業務の適正化を図れたか。	3.2
	4	<b>業務の効率化</b> 保護者・地域と協働したり、関係機関等と連携・分担したりして、教育活動の質の向上を図れたか。	3.2
	5	<b>業務改善の意識化</b> 「学級経営の充実及び授業改善が一番の業務改善」を念頭に、業務改善1TRYを設定し、教育の質の向上に努めたか。	3.1
(IX 6 服務)	1	<b>服務規律の厳正確保</b> 自覚と使命感、倫理観を堅持し、服務規律を遵守したか(服務ファイルの記入)。	3.8
	2	<b>身なり・挨拶・接遇</b> 場をわきまえて身なりを整えたり、にこやかに誠実な接遇を行ったりすることができたか。	3.3